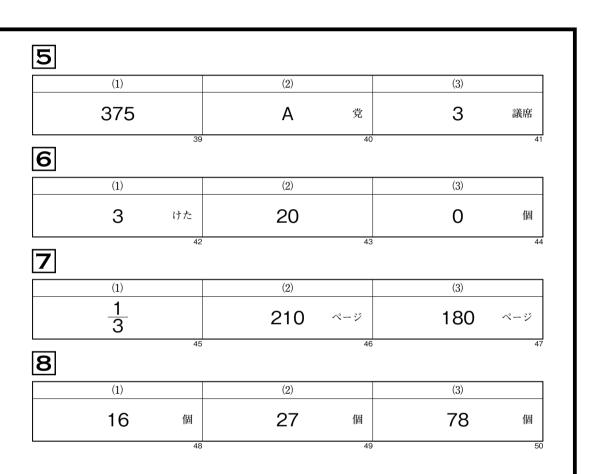
## 小学5年 算数 — 解答と解説

	(1)			(2)			(3)	
5	517			240			64.45	
		21			22	<u> </u>		
	(4)			(5)				
	4			7				
2		24			25			
	(1)			(2)			(3)	
	60	%		108	$\mathrm{cm}^2$		210	
	(4)	26		(-)	27		(2)	
	(4)			(5)			(6)	
2	880	度	時速	42	km	時速	24	
	(7)	29			30			
_								
1	500	円						
3		32	•					
	(1)			(2)			(3)	
1:	2.56	cm		45	度		42	
4		33			34			
	(1)			(2)			(3)	
	45	m		0.9	km	時速	3.6	



(配点) 各 5 点×30 計150点

下にある「思考スキル」は、問題に取り組むことを通じて、みなさんに身につけてほしい力を表したものです。これらの思考スキルは、算数の問題に限らず、さまざまな場面でも活用することができる大切な力です。解説では、問題ごとに意識してほしい思考スキルを示しています。今後の学習でも、思考スキルを意識して、問題に取り組むとき活用するように心がけてみましょう。

#### 思考スキル

#### ○情報を獲得する

- ・問題文から必要な情報や条件を正しくとらえる
- ・図やグラフなどから必要な情報を正しくとらえる

#### ○情報を活用する

- ・とらえた情報を、他の問いでも活用する
- ・とらえた情報から、さらに別の情報を引き出す
- ・前問が後に続く問いの手がかりとなっていること を見ぬく

#### ○再現する

- ・計算を正しく行う
- ・持っている知識を状況に応じて正しく運用する
- ・問いの指示通りの操作を正しく行う

#### ○置きかえる

- ・問いの状況を図やグラフなどに表す
- ・問いを別の形に言いかえる
- ・未知のものを自分にとってなじみの形にする
- ・比の値を具体数で表す
- ・数値をあてはめて、特定の状況をとらえる
- ・解答の範囲や大きさを予測する

#### ○調べる

- ・方針を立て、考えられる場合をもれや重複なく全 て探し出す
- 書き出すことを通じて、きまりを見つける

#### ○順序立てて変化をとらえる

- ・変化する状況を時系列で明らかにする
- ・複雑な状況を要素ごとに筋道立てて明らかにする

#### ○一般化する

- ・具体的な事例から、他の状況にもあて はまるような式を導き出す
- ・具体的な事例から、規則やきまりをと らえる

#### ○視点を変える

- ・図形を別の視点で見る
- ・立体を平面としてとらえる
- ・多角的な視点から対象をとらえる

#### ○特徴的な部分に注目する

- ・等しい部分に注目する
- ・変化しないものに注目する
- ・和、差や倍数関係に注目する
- ・規則や周期に注目する
- ・対称性に注目する
- ・際立った部分(計算式の数、素数、約数、 平方数、…など)に注目する

#### ○特定の状況を仮定する

- ・極端な場合から考える(もし、全て… なら)
- ・不足を補ったり、余分を切りはなした りして全体をとらえる
- ・複数のものが移動するとき、特定のも のだけを移動させて状況をとらえる

#### 【解 説】

#### [2] (1) (百分率) A1 再現する

 $\frac{3}{5} = 0.6 = \underline{60}\%$ 

(2) (平行四辺形の面積) A1 再現する

平行四辺形の面積は「底辺×高さ」で求められるので、 $12 \times 9 = 108$  (cm²)

(3) (時計の角度) A2 再現する

5時ちょうどに、長針は「12」、短針は「5」を指しているので、

 $360\div12\times(12-5)=210(度)$ 

(4) (正多角形の内角の和) A2 再現する

正 n 角形の内角の和は $\lceil 180 \times (n-2) \rceil$ で求められるので、

 $180 \times (18-2) = 2880$  (度)

(5) (速さ) A2 再現する

「速さ=道のり÷時間 | なので、 168÷4=(時速) 42(km)

(6) (平均の速さ) A2 情報を獲得する

行きは $120 \div 30 = 4$ (時間)、帰りは $120 \div 20 = 6$ (時間)かかったので、

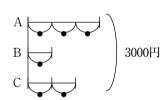
 $120 \times 2 \div (4+6) = (時速) 24 (km)$ 

(7) (分配算) A2 情報を獲得する

A、B、Cの3人がもらう金額を線分図にすると

右のようになり、全体はBの6倍です。

 $3000 \div (3+1+2) \times 3=1500 (円)$ 



③ (おうぎ形)

おうぎ形の弧の長さや面積を求めるときには、円周率(3.14)の計算が必要になります。3.14の 計算を最後にまとめてやるという工夫で計算間違いをしないようにしましょう。

(1) A2 再現する

 $12 \times 2 \times 3.14 \times \frac{60}{360} = 4 \times 3.14 = \underline{12.56} \text{ (cm)}$ 

(2) B1 再現する 情報を獲得する

半径8cmの円の円周の長さは、8×2×3.14=50.24(cm)

 $\frac{\underline{\mathfrak{M}}}{\overline{\square}} = \frac{6.28}{50.24} = \frac{1}{8}$  よって、中心角は、  $360 \times \frac{1}{8} = \underline{45}$ (度)

(3) B1 再現する 情報を獲得する  $(2) \, \text{から} , \, \, \frac{\text{中心} \text{角}}{360} = \frac{\text{弧}}{\text{円周}} \, \text{です}.$ 

よって、おうぎ形の面積は、  $7\times7\times3.14\times\frac{12}{7\times2\times3.14}=42$  (cm²)

(別解)

おうぎ形の面積は[半径 $\times$ 弧の長さ $\div$ 2]で求められるので、 $7\times12\div2=42$ (cm²)

#### 4 (速さ)

#### (1) B1 再現する 情報を獲得する

白線 5 本分と白線と白線の間かくが 4 か所、それぞれ 5 mずつなので、  $5 \times (5+4) = 45 \text{ (m)}$ 

#### (2) B1 再現する 情報を活用する

(1)より、1分に45mの速さで20分進むので、

 $45 \times 20 = 900 \, (m) \rightarrow 0.9 \, (km)$ 

#### (3) B2 再現する 置きかえる

5分遅れて出発して、いつも通りに着くためには、20-5=15(分)で進む必要があります。 家から学校までの道のりは(2)から0.9kmです。

時速は1時間(60分)で進む道のりなので、

$$0.9 \times \frac{60}{15} = 3.6 \rightarrow$$
 時速3.6km

#### 5 (規則を利用した問題)

問題文の説明をよく読んで、何を求めればよいかを見つけましょう。(3)は例にならって表に数を入れて調べていきます。

#### (1) B1 情報を獲得する 調べる

1500を 1 から順に割ったときの商を求めるので、Xは、 1500÷4=375

政党名	A党	B党	C党	D党
得票数	1500	700	300	200
÷1	1500	700	300	200
÷2	750	350	150	100
÷3	500	233	100	66
÷4	$\bigcirc$	175	75	50
÷5	300	140	60	40
÷6	250	116	50	33

#### (2) B2 情報を活用する 調べる

定数が8から9に1増えたときに増える議席は、この表で当選の○印がついていない数のうち、もっとも大きい数になので、ここではA党の「250」です。

よって、増える議席はA党になります。

#### (3) B3 情報を活用する 順序立てて変化をとらえる 調べる

右の表のように空らんに数を入れながら 調べていきます。大きい方から8番目ま で当選の○印をつけると、A党3議席、 B党2議席、C党2議席、D党1議席と なります。

よって、A党は3議席です。

政党名	A党	B党	C党	D党
得票数	2000	1500	1200	900
÷1	2000	1500	1200	900
÷2	1000	750	600	450
÷3	666	500	400	
÷4	500			
÷5				
÷6				
÷7				

#### (数の性質) 6

問題文をそのままに計算をして答えを出す問題ではありません。0がひとつ増えるとはどういう ことかを正確に理解し、必要な条件を見極めましょう。

#### (1) B1 情報を獲得する 置きかえる

一の位に $\lceil 0 \rceil$ がひとつ増えるというのは、 $\lceil 1 \rceil$ の倍ということです。 $\lceil 0 \rceil$ が $\rceil 1 個につき、$ 

10倍つまり「2×5|が1組あると考えられます。

 $1\times2\times3\times4\times5\times6\times7\times8\times9\times10=3628800$ 

素数の積で表すと、

 $1 \times 2 \times 3 \times 2 \times 2 \times 5 \times 2 \times 3 \times 7 \times 2 \times 2 \times 2 \times 3 \times 3 \times 2 \times 5 = 3628800$ 

このかけ算の中に、[2]はたくさんありますが、[5]は $5と10(2 \times 5)$ の2つしかありません。 したがって、「2×5|は2組になるので、「0|は2けたとなっています。

同じように考えると、 $1 \sim 15$ の中に[5]は、 $5 \ge 10(2 \times 5) \ge 15(3 \times 5)$ の3つです。

よって、 $[2\times5]$ は3組になるので、[0]は3けたです。

#### 

(1)の続きで4つ目の[5]が出てくるのは、 $5\times4=20$ 

#### (3) B2 情報を獲得する 置きかえる

(2)の続きで5つ目の[5]が出てくるのは、 5×5=25

ところが、25には[5]が2つあるので、Xを25とすると $[2\times5]$ が6組できます。

つまり、X が24では[0|が 4 けた、X が25では[0|が 6 けたになるので、[0|が 5 けたに なるXはありません。したがって、答えは0個です。

#### 7 (相当算)

問題文に書かれている条件を整理して、解決の糸口を見つけられるようにしましょう。相当算 では何をもとにした割合なのかを間違えないように注意して整理しましょう。

#### (1) B2 情報を獲得する 順序立てて変化をとらえる **■**

1,2日目と3,4日目と5,6日目のページ数が等しいという条件をどう利用するかを考 えます。2日間ずつがそれぞれ等しいというのは、2日間で全体の $\frac{1}{3}$ を読んだという ことと同じです。

#### (2) B3 情報を活用する 順序立てて変化をとらえる 特徴的な部分に注目する

読んだページ数を日付ごとに整理します。

1日目…上巻の 1

2 日目…70ページ

3 日目…上巻の残り+下巻の  $\frac{1}{7}$  4 日目…50ページ

5 日目…下巻の 🔒

6日目…下巻の残り

(1) より 2 日間で全体の  $\frac{1}{3}$  を読んでいるので、1, 2 日目に読んだページ数を 3 倍すると、

(上巻の $\frac{1}{3}$ +70)×3=上巻の $\frac{1}{3}$ ×3+70×3=上巻+210ページ これが全体のページ数と等しくなるので、下巻のページ数は210ページ。

#### (3) B3 情報を活用する 順序立てて変化をとらえる 特徴的な部分に注目する

3日目から5日目までに読んだ下巻のページ数は、

$$3$$
日目 $\cdots$ 210× $\frac{1}{7}$ =30(ページ)

5 日目…210× 
$$\frac{1}{3}$$
 =70 (ページ)

6 日目…210
$$-(30+50+70)=60(ページ)$$

5.6日目に読んだページ数は、

$$70+60=130$$
(ページ) …これが全体の  $\frac{1}{3}$ 

よって、上巻のページ数は、

#### 8 (三角形の個数)

場合分けしながら数えていく問題です。段数が増えたときに上下さかさまになった三角形を数 え忘れないように注意しましょう。

#### (1) B1 情報を獲得する 調べる

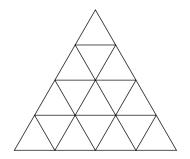
1 cmの正三角形 1段目…1個

2段目…3個

3段目…5個

4段目…7個

よって、1+3+5+7=16(個)



#### (2) B2 情報を活用する 視点を変える 調べる

2 cmの正三角形 1-2段目…1個

2-3段目…2個

3-4段目…4個

3cmの正三角形 1-2-3段目…1個

2-3-4段目…2個

4 cmの正三角形 1-2-3-4 段目…1個

よって、 16+1+2+4+1+2+1=27(個)

#### (3) B3 情報を活用する 順序立てて変化をとらえる 調べる 特徴的な部分に注目する

1cmの正三角形 1段目…1個

2段目…3個

3段目…5個

4段目…7個

5段目…9個

6段目…11個

1+3+5+7+9+11=36 (個)

2 cmの正三角形 1-2段目…1個

2-3段目…2個

3-4段目…4個

4-5段目…6個

5-6段目…8個

1+2+4+6+8=21(個)

3cmの正三角形 1-2-3段目…1個

2-3-4段目…2個

3-4-5段目…3個

4-5-6段目…5個

1+2+3+5=11(個)

4 cmの正三角形 1-2-3-4 段目…1個

2-3-4-5段目…2個

3-4-5-6段目…3個

1+2+3=6(個)

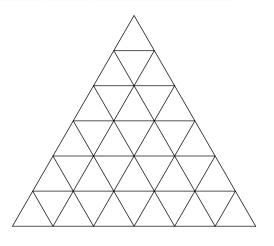
5 cmの正三角形 1-2-3-4-5 段目…1個

2-3-4-5-6段目…2個

1+2=3(個)

6 cmの正三角形 1-2-3-4-5-6 段目…1個

よって、 36+21+11+6+3+1=78(個)



## 小学5年 社会 --- 解答と解説

#### 1

I	問1	問2	問 3	問 4	問5
	С	ウ	い草 (いぐさ)	イ	ア
•	21	22	23	24	25

問6	問7
i	ウ
26	27

問8

化学工場から有機水銀を含んだ排水が水路を通って

八代海に流れ込み魚介類が汚染された。

問9 問10 問11 問12 ア エ イ エ

問13		問14	
鹿児島	(県)	大分	(県)
	33		34

#### 2

問 1	問2	問3	問 4
大韓民国/韓国 (だいかんみんこく/かんこく)	エ	山 陰(さんいん)(地方)	ア
35	36	37	38

問 5	問 6	問7
三 角 州 (さんかくす)	倉 敷 (くらしき) (市)	イ
3	9 40	4

問8

全国からの入荷量が少なく価格の高いときに東京に出荷すると、

輸送費がかかっても利益がでるから。

42

問9 問10	問11	問12	問13		
エーイ	d	3	1		
43 4	4 45	4	6 47		
3					
問1			問2		
) ウ (2) エ		毎雨(つゆ)	b	台風(たい	
48 4			50		51
問3	問 4	問!	5 問6	問7	
ウーイ	(と)	ウア	ア	ウー	
52		(完答) 53	54	55 56	<b>-</b>
1		問8	~		_
				(配, 1 3 1	点) 問7 <b>2</b> 問 1
問9	問10	問1	1 問12		
	洪水/水気				
59 問13		60 問14	61 6	問15	問16
	つと) (半島)	自 動	車	<sub>同15</sub> 茶 (ちゃ)	ア (と) エ

#### 【解 説】

#### 1 九州地方に関する問題

#### 問 1 A2 想起 変換 カテゴライズ

aの福岡県沖り島は「『神宿る島』 禁後・沖ノ島と関連遺産群」、bの軍艦島と呼ばれる長崎県端島は「明治日本の産業革命遺産ーなり数、製鋼、ご覧船・石炭産業」、dの那覇市首里城は「琉球王国のグスク及び関連遺産群」として世界遺産に登録されています。 cの奄美大島は現在は登録されていませんが、世界自然遺産への登録が目指されています。

#### 問2 A2 想起 変換

屋文島は縄文スギに代表される屋久スギなど豊富な植生が特色で、世界遺産に登録されています。

#### 問3 A1 想起

い草は畳装をつくるために使われる工芸作物です。熊本県は全国のい草の約98%を生産していて、その中心がfの八代平野です。い草は米の裏作として11月頃水田に植え付け、6月頃に刈り取ります。

#### 問4 A2 想起 変換

gの佐賀県の有田町や伊万里市などでは、 陶磁器が生産されています。有田の焼き物は、 長崎を通じて17世紀後半からヨーロッパに も輸出されていました。

#### 問5 A2 想起 変換

干拓は海などに堤防を築いたのち堤防内の水を排水して陸地を造成する方法で、日本ではhの有明海がたの他に、岡山県の児島湾や秋田県の八郎潟などで行われてきました。

#### 問6 A2 想起 変換 カテゴライズ

北九州市は1963年に門司市・小倉市・戸 城市・八幡市・若松市の5市が合併して成立 した市です。1979年以前は九州で最も人口 の多い都市でした。政令指定都市で道府県庁 所在地ではない市としては、神奈川県川崎市 に次ぐ人口となっています。

#### 問7 A2 想起 変換 比較・対照

直線距離で那覇・福岡間は約850km、大 版・高知間は約215km、福岡・京都間は約 520km、名古屋・鳥取間は約240kmです。与 なでは 那国島は東経122度56分にある日本最西端の 島で、台湾まで約110kmほどのところにあり ます。

#### 問8 B1 変換 理由・根拠

熊本県南西部にある茶模市では、化学工場からの廃水中の有機水銀が魚介類を汚染し、その魚介類を食べた人に、手足のしびれや言語障害などの症状が出る水俣病が発生しました。水俣病は1956年に公式に発見され、現在でも病気に苦しむ人々がいます。

#### 問9 A2 想起 変換

新燃器は九州南部の霧島山中央部にある活火山で、有史以来たびたび噴火していて、2018年も3月に噴火しています。 宮之浦岳は屋久島、開聞岳は薩摩半島の南端付近に、雲仙普賢岳は島原半島にあり、1991年には大規模な火砕流が発生しました。

#### 問10 A1 想起

カルデラとは火山の爆発などにより形成さ れる、大きなすり鉢状の凹地(窪地)のこと です。阿蘇山のカルデラは、東西約18km、 南北約24kmで、世界最大級となっています。 クリークは低湿な平野の耕地の周囲に設けら れた灌漑・排水のための水路で、かつては筑 紫平野などでよく見られました。リアスは山 地が海面下に沈んでできた海岸で、岬と入り **江が鋸の歯のように並んでいます。リアス** 海岸は湾口に比べて奥が狭い構造のため、浸 入してきた津波の波高が増しその結果沿岸の 被害が大きくなります。カルストは石灰岩か らなる地形で、鍾乳洞やドリーネなどと呼ば れるカルスト地形が見られます。カルストの 語源は同じ地形が見られるスロベニアのクラ ス地方からきています。

#### 問11 A2 想起 理由・根拠 比較・対照

八幡製鉄所とともに発展してきた北九州工業地帯は、東京や大阪市といった大消費地から遠いこともあり、近年は工業生産額が伸び悩んでいます。八幡製鉄所は筑豊炭田が近くにあり石炭が得やすかったこと、当時の鉄鉱

せき の to うさき 石の輸入先の中国に比較的近かったこと、港 たっ に適 した洞海湾があったことなどから 1901年に操業を開始しました。

#### 問12 A1 想起

イネ科の植物であるさとうきびは、熱帯や ・ 整熱帯の気候を好む植物で、日本ではほぼ全 量を沖縄県、鹿児島県で生産しています。す いかは熊本県、千葉県、山形県などで、いち ごは栃木県、福岡県、熊本県などで、さつま いもは鹿児島県、茨城県、千葉県などで生産 されています。

#### 問13 A1 想起

鹿児島県の県章は本土の地形をかたどっています。鹿児島湾の西側にある半島が薩摩半島、東側にある半島が大隅半島です。

#### 問14 A2 想起 カテゴライズ

Aは鹿児島県、Bは営崎県、Cは熊本県、Dは大分県、Eは福岡県、Fは長崎県、Gは を費場、Hは沖縄県です。大分県は鉄鋼業な どが盛んで、九州地方では福岡県に次いで工 業が盛んです。

#### ② 中国四国地方に関する問題

最初に地図中の記号を確定します。Aは山口県、Bは島根県、Cは鳥取県、Dは広島県、Eは岡山県、Fは愛媛県、Gは香川県、Hは高知県、Iは徳島県、Xは太田川、Yは大三島、Zは吉野川です。

#### 問 1 B1 理由・根拠 変換

下関市と大韓民国(韓国) 釜山市を結ぶ関係 金ブェリーは、年間約17万人の乗客を輸送しています。下関は2016年5月で人口約27万1千人の都市で、造船業や水産業が盛んです。釜山は2015年で人口約345万人の韓国ではソウルに次ぐ第2の都市です。

#### 問2 A2 想起 カテゴライズ

16世紀から開発された島根県の石見銀山を中心とする一帯は、「石見銀山遺跡とその文化的景観」という名称で世界文化遺産に登録されています。厳島神社と原爆ドームは広島県、松下村塾は山口県にあります。

#### 問3 A2 想起 変換

山陰地方の呼び方は、律令制下で定められた五畿七道の山陰道に由来しています。

#### 問4 A2 想起 変換

広島県では広島市や府中町などに、大規模 な自動車工場が建設されています。

#### 問5 A1 想起

川が上流から運んできた砂や粘土などを推 積して、河口付近に形成される地形が三角州 です。広島市の市街地は太田川が形成した三 角州上に広がっています。

#### 問6 A1 想起

岡山県蒼敷市では水島地区に製鉄所の他に 石油化学コンビナートや自動車工場などがあ り、重化学工業が発達しています。

#### 問7 A1 想起

本州と四国の間には、東から兵庫県神戸市と徳島県鳴門市、岡山県倉敷市(児島)と香川県坂出市、広島県尾道市と愛媛県今治市を結ぶ3つのルートがあり、尾道市と今治市を結ぶルートが瀬戸内しまなみ海道と名付けられています。来島海峡大橋はしまなみ海道にある吊り橋です。瀬戸大橋は倉敷・坂出ルートに、明石海峡大橋と大鳴門橋は神戸・鳴門ルートにあります。

#### 問8 B2 想起 立証 理由・根拠

高知県では冬の暖かい気候を利用した促成 栽培が盛んで、なすの生産量は全国1位となっています。促成栽培は収穫の時期を早め野菜の少ない冬塩は出荷するので、競争相手が少なく高い値段で売れることになります。

#### 問9 A2 想起 変換 カテゴライズ

阿波歸りは徳島市などで行われるまつりで、徳島県の旧国名が阿波だったことからこれが阿波だったことからこれで、徳島県の旧国名が阿波だったことからこれが一次市で吉野川から引水し、讃岐平野の灌漑などに利用される用水です。四国山地は四国地域大の中央を東西に延びる山地で、吉野川は大ち危小歩危の峡ががなってりながら横断しています。吉野川の流域だけではなく四国地方には政令指定都市はありません。

#### 問10 A1 想起

北緯35度の緯線は、島根・広島・岡山・兵庫・大阪・京都・滋賀・三重・愛知・静岡・千葉の各府県を通っています。北緯30度の緯線は屋久島付近なも、北緯40度の緯線は秋田県の八郎潟千拓地などを、北緯45度の緯線は北海道の稚内付近などを通っています。

#### 問11 A2 想起 変換 カテゴライズ

dの高松市の気候は、南北の山地で季節風を遮られるため、冬でも比較的温暖で降水量が少ないという特色を示します。bの鳥取市、cの松江市は日本海側の気候、eの高知市は太平洋側の気候の特色を示します。

#### 問12 A2 想起 カテゴライズ

中国四国地方で県名と県庁所在地名が異なるのは、島根県松江市、愛媛県松山市、香川県高松市の3つです。

#### 問13 A2 想起 変換 比較・対照

山口県周南市は徳山市や新南陽市などが合併して成立した市で、新幹線の駅名は徳山です。広島県福山市には大規模な製鉄所がありますが、石油化学コンビナートはありません。愛媛県今治市と香川県坂出市には新幹線が敷設されていません。また両市とも主として市の北側に海が広がっています。

#### ③ 近畿地方・中部地方に関する問題

#### 問1

#### (1) A2 想起 カテゴライズ

奈良市は2017年の人口が約35万7千人の奈良県の県庁所在地ですが、政令指定都市ではありません。 近畿地方の政令指定都市には他に大阪市があります。

#### (2) A2 想起 カテゴライズ

アは大阪府、イは兵庫県、ウは和歌山県です。 人口や製造品出荷額との比較から、アとイが 除かれ、人口や市の数からウが除かれます。

#### 問2 A1 理由・根拠

近畿地方南部の地域では、梅雨と台風の影響を受ける6月と9月の降水量が多くなって

いて、太平洋側の気候の特色を示します。

#### 問3 A1 想起

問題文から釜属工業の割合が高いウが阪神 工業地帯となります。アは京浜工業地帯、イ は東海工業地域、エは関東内陸工業地域です。

#### 問4 A2 想起 カテゴライズ

京都府内では他に京焼や景扇子、京人形などの伝統的工芸品が生産されています。信楽焼は滋賀県、常滑焼は愛知県の伝統的工芸品です。

#### 問5 A2 想起 カテゴライズ

アの首里城は沖縄県那覇市にあります。 イ は兵庫県姫路市の姫路城、ウは京都市の鹿苑 はきから、 寺金閣、エは京都府宇治市の平等院鳳凰堂です。

#### 問6 A1 想起

かきはタンニン性の物質を含む渋柿と含まない甘柿に分けられ、甘柿は温暖な気候の県で栽培されています。かきは東アジア原産の植物で、実を食用とするほか幹は家具として利用されます。うめは和歌山県、群馬県、みかんは和歌山県、愛媛県、静岡県、熊本県、ももは山梨県、福島県、長野県、和歌山県の順に生産されています。

#### 問7 A1 想起

志摩半島は三重県東部にある半島で、リアス海岸となっている英虞湾などは比較的波が静かなため、明治時代より真珠の養殖が行われています。奈良県大和郡山市の金魚の養殖は、江戸時代に藩主が家臣や農民に勧めたことから始まり、約300年の歴史を持っています。養殖には周辺にある多くのため池が利用されています。現在愛知県弥富市などと並んで日本有数の金魚の生産地となっています。

#### 問8

#### (1) B1 想起 変換

中部地方には岐阜県、愛知県、静岡県、長野県、山梨県、福井県、石川県、富山県、新潟県の9県が、近畿地方には京都府、大阪府、兵庫県、和歌山県、奈良県、三重県、滋賀県の2府5県があります。

#### (2) A2 抽象・具体 変換 カテゴライズ

長野市は善光寺の門前町として発展した、2018年6月現在で人口約37万9千人の都市です。1998年には長野オリンピックが開かれ、市内ではスケート競技などが行われました。アは山梨県甲府市、イは長野県諏訪市、エは岐阜県高山市です。

#### 問9 B1 想起 理由・根拠 比較・対照

中央高地の気候には、周囲を高い山で囲まれているため降水量が少なく夏と冬の気温の 差が大きいという特色があります。エは太平 洋側の気候の特色です。

#### 問10 A2 想起 理由・根拠

・木曽川・簑良川・揖斐川の3つの大きな河 が集中する濃尾平野南部では、洪水による 被害が多発していたため、かつては写真のように盛り土をした上に家屋をつくる水屋が多 く見られました。またこの地域は堤防で囲まれた中に集落が立地しているところが多く、 そこから輪中という呼び方が生まれています。

#### 問11 A2 想起 変換 カテゴライズ

黒部川は飛驒山脈の鷲羽岳付近に水源を発し、富山県の東部を流れ日本海に注ぐ川です。 上流部では深い峡谷をつくり、黒部第四ダムなどが建設されています。天竜川は長野県、愛知県、静岡県を流れ遠州灘に、大井川は静岡県を、富士川は山梨県と静岡県を流れ、それぞれ駿河湾に注いでいます。

#### 問12 A2 想起 変換

キクは秋になり日が短くなると咲く性質があるため、9月頃から夜間に温室内を電灯で照らして花の咲く時期を遅らせ、1月~4月に出荷する農業が行われています。このキクの栽培方法を電照栽培といいます。

#### 問13 A2 想起 変換

金沢が県庁所在地の石川県の県章は、「石川」の文字と能登半島の形を組み合わせたものです。能登半島は南北約100km、東西約50kmの日本海側最大の半島です。

#### 問14 A1 想起

愛知県内には豊田市や岡崎市など、自動車

工業が発達している都市があります。そのため2014年の愛知県の製造品出荷額約43兆9899億円のうち、輸送用機械生産が約53.5%を占めています。豊田市や岡崎市で海外向けに生産された自動車は、名古屋港や三河港から輸出されています。

#### 問15 A1 想起

茶は幹平均気温が14℃~16℃程度の温暖で水はけの良い土地が栽培に適しています。寒さに弱いため地表面の温度を上げ霜の被害を防ぐために、防霜ファンが使用されています。写真3の静岡県牧ノ原は、茶の一大生産地となっています。

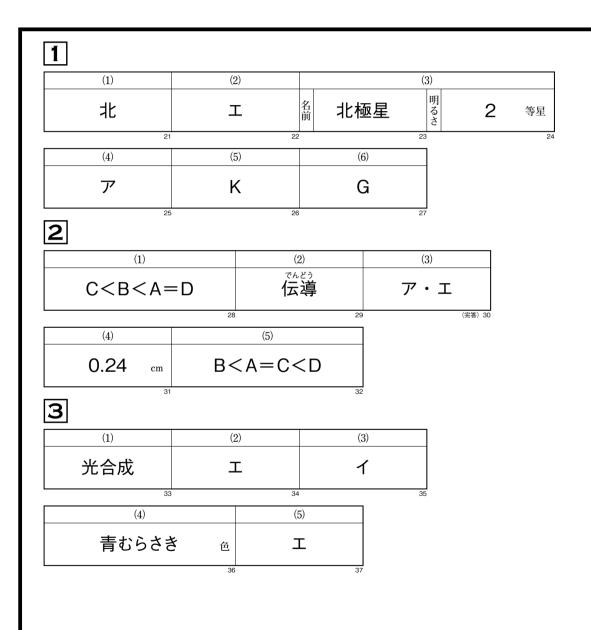
#### 問16 B1 想起 理由・根拠

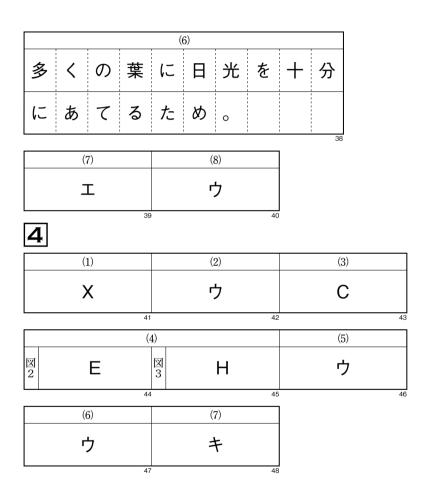
愛知県一営市と富山県砺渡市を結ぶ東海北 陸自動車道は、最後まで残っていた飛騨清見 ICと白川郷ICの間が結ばれたことにより2008 年に全通しました。この結果東名・名神高速 道路方面からも北陸自動車道方面からも、白 川郷周辺までの移動時間が大きく短縮されま した。北陸新幹線は2015年に長野から金沢ま で延伸され、このことにより首都圏からの時 間距離も短縮され、北陸方面の観光客数は大 きく増加しました。1982年に開通した上越新 幹線は、埼玉県の大宮駅と新潟駅を結んでい ます。新東名高速道路は神奈川県海老名市と 愛知県豊田市を結ぶ高速道路です。2018年現 在、厚木南ICと御殿場ICの間は開通していま せん。両者とも白川郷の観光客数に直接は結 びついているわけではありません。

#### (記述問題の採点について)

- ・解答の字数制限に従っていない場合 …不正解
- ・明らかな誤字・脱字がある場合
- ・文章・文末表現の不備がある場合
  - …-1点

## 小学5年 **理料** ― 解答と解説





(配点)

(3)各2点×2=4点 他各4点×5=20点 1

各4点×5=20点 各4点×8=32点 各3点×8=24点 2 3 4

計100点

#### 【解 説】

#### 1 星座・星の動きについての問題

#### (1) A2 知識 抽出

地球が自転することによって、太陽や夜空に見られる星は動いているように観察されます。地球の北半球に位置する日本では、東の空に見られた星は南の空を横切るように動き、やがて西の地平線へとしずむように見えます。一方、北の空にある星は北極星を中心に反時計回りの円をえがくように動いて見えます。

#### (2) A1 知識

図1にえがかれている『Wの形』をした星の集まり(星座)は、カシオペヤ座とよばれています。このカシオペヤ座と同じく、7つの星がひしゃくの形にならんだ北斗七星をふくむおおぐま座なども、北の空に見られる代表的な星座です。

#### (3) A1 知識

こぐま座の中にある北極星は2等星で、 地球の北極上空で地軸を延長した先にある ことから、地球が自転しても常に真北の方 角にあって動くことがありません。

#### (4) A2 知識 根拠

北極星の高度は、観察している地点の緯度と等しくなるので、関東地方より緯度の高い北海道で北極星を見ると、関東で見るより高い位置になっています。

#### (5) A2 知識 根拠

地球は24時間で1回自転しているため、 1時間あたりに15度ずつ、北極星を中心 として反時計回りに星が回転していくよう に見えます。このことから、午後9時から 2時間経過した午後11時には、15×2=30 (度)だけ移動して見えます。図1にえがかれた点線は円を12等分しているので、その1つの間かくは、 $360\div12=30$ (度)になっています。したがって、2時間後のカシオペヤ座の位置はKになります。

#### (6) A2 知識 根拠

地球は1年で1周太陽のまわりを公転しているため、地球から見る星は、自転によって1日で1周(360度)動くとともに、公転によっておよそ1度だけずれていき、1か月(=30日)では30度反時計回りに動いて見えます。したがって、3か月と4時間経過した4月1日の午前1時には、30×3+15×4=150(度)だけ移動して見えます。これは、点線でえがかれた目もり5つ分になるので、答えはGとなります。

#### 2 もののあたたまり方についての問題

#### (1) A2 知識 抽出

A~Dの4か所にロウをぬった金属の棒をガスバーナーのほのおであたためると、棒のあたためた場所に近いところから順に熱が伝わり、ろうがとけていくようすを確認できます。図1で、ほのおのあたる場所はCに最も近く、次に近いものがB、そしてAとDはあたためた場所から等しい距離にあるため、ロウがとけるまでにかかる時間を短い順にならべると、C<B<A=Dとなります。

#### (2) A1 知識

温度のちがう2つの物体が直接ふれあうことによって、熱がその物質の中を移動しながら伝わっていくような熱の伝わり方を 伝導といいます。熱は温度の高い所から低 い方へと移動していき、図1の実験では、 ほのおの熱が金属の中を伝わってロウをあ たためています。

#### (3) A2 知識 根拠

フライパンを持つ手に熱が伝導してこないようにするために、取っ手は熱を伝えにくい木などでできていることが多いです。また、鉄棒も熱を伝えやすいため、手でにぎった場所から自分の熱がうばわれていき、とても冷たく感じます。だんぼう器具で部屋の空気をあたためるイは、対流によって伝わる熱に関係があり、たき火のほのおであたたまるウは、放射によって伝わる熱に関係があります。

#### (4) B1 根拠 変換

0  $\mathbb{C}$  のときの長さが 5 m (=500cm) の鉄 でできた棒は、 1  $\mathbb{C}$  温度が上昇するにつれ て、 $500 \times 0.000012 = 0.006$  (cm) ずつ長く なっていくため、40  $\mathbb{C}$  になると、 $0.006 \times$ 40 = 0.24 (cm) のびます。

#### (5) A2 知識 抽出

図2で、ガスバーナーのほのおのあたる 場所に最も近いのはBで、次に近いものは AとCです。そして最も離れているのがDになることから、ロウがとけるまでにかか る時間を短い順にならべると、B<A=C

#### ③ 植物の成長と養分についての問題

#### (1) A1 知識

光のエネルギーを利用して、二酸化炭素と水からでんぷんと酸素をつくるはたらきを光合成とよんでいます。ジャガイモが光合成を行うと、作ったでんぷんを新しいイ

モの中にたくさんたくわえるようになります。

#### (2) A2 知識 根拠

前日までに作られたでんぷんが葉の中に残っていると、実験した条件にかかわらずすべての葉にでんぷんが作られたことになってしまうため、前日の早朝から葉に光をあてないようにして、葉の中からでんぷんをなくしておく必要があります。

#### (3) A2 知識 根拠

つみ取った葉に直接ョウ素液をつけて も、葉の緑色が濃すぎるために色の変化が ほとんどわかりません。そこで、葉をお湯 に入れてやわらかくしたのち、温めたアル コールで葉の色を十分にうすくしてからョ ウ素液につけなければなりません。

#### (4) B1 比較 根拠

黄かっ色(うすい茶色)をしたヨウ素液を でんぷんのある場所につけると、色が変化 して青むらさき色になります。このような ヨウ素液の性質を利用して、葉の中にでん ぷんがあることを確認することができま す。

#### (5) B1 抽出 比較

葉をアルミはくでつつんで日光があたらないようにするとでんぷんが作られず、アルミはくでつつまずに日光を当てるとでんぷんが作られたことから、植物が光合成を行うには日光(太陽の光)が必要であるとわかります。

#### (6) B2 抽出 根拠 具体

植物を真上から観察したとき、葉があまり重ならないようについているのは、上の葉にさえぎられることなく下の方の葉にま

で太陽の光がとどくようにしてでんぷんを たくさん作り、植物が成長できるようにす るためです。

#### (7) A2 知識 比較

たねイモから芽が出て大きく成長すると、たねイモの上で土の中をのびるくき(これを地下けいといいます)の先に1個ずつ新しいイモをつけます。このことから、エのような新しいイモのでき方が答えとなります。

#### (8) A2 知識 分類

ジャガイモは、地下にのびるくきの先に たくわえられたでんぷんのかたまりです。 ハスは大きな葉だけを水面上に広げ、根と くきは水の中にあります。そのうち、いく つもの節でつながった太いくきの部分をれ んこんとして食べているため、ジャガイモ と同じようにくきの部分を食用としている といえます。一方、私たちが食べているサ ツマイモは、葉が光合成をしてつくったで んぷんを根に運び、そこにたくわえたもの です。また、タマネギは何枚もの葉が丸く 重なった状態のものを、ニンジンは太くな った根の部分を食用としています。

#### 4 月の満ち欠けについての問題

#### (1) A1 知識

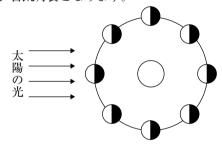
地球の北極上空から見たとき、地球の 自転と公転や月の自転と公転はすべて反 時計回りになっているので、図1におい て月の公転の向きはXになります。

#### (2) A1 知識

太陽のように、自分から光を出してかが やいている天体を恒星といいます。また、 地球のように恒星のまわりを公転している 天体を惑星、さらに、月のように惑星のま わりを公転している天体を衛星といいま す。彗星は氷やちりでできていて、尾をひ きながら移動する天体です。

#### (3) A2 知識 根拠

月が地球のまわりを公転すると、地球から見た明るい月面の形が変化して、月の満ち欠けが起こります。図1のCの位置に月があると、地球からは太陽光線によって照らされた月面すべてを見ることができるため、満月となって見えます。このとき、太陽・地球・月が一直線にならぶと、月が地球のつくるかげの中にすべて入ってしまい、皆既月食となります。



#### (4) A1 知識

図1のEの位置に月があると、地球から見える月面の右側半分だけに太陽光線が当たっているので、図2のような半月(これを上げんの月とよんでいます)が見られます。一方、図1のHの位置に月があると、地球から見た月面のわずかに左はしだけが太陽光線に照らされているため、図3のような形の月を見ることができます。

#### (5) B1 比較 根拠

月は27.3日で地球のまわりを1周公転しますが、その間に地球も太陽のまわりを27.3度ほど公転してしまうため、それに月

が追いついて再び太陽・地球・月の位置関係が同じになるまでにはさらに2.2日ほどかかるため、月はおよそ29.5日を1周期として、新月→上げんの月→満月→下げんの月→新月の順に形を変えて見えることになります。図2が上げんの月で、図3は下げんの月と新月の間の月なので、このような月の形の変化におよそ19日かかることがわかります。

#### (6) B1 根拠 比較

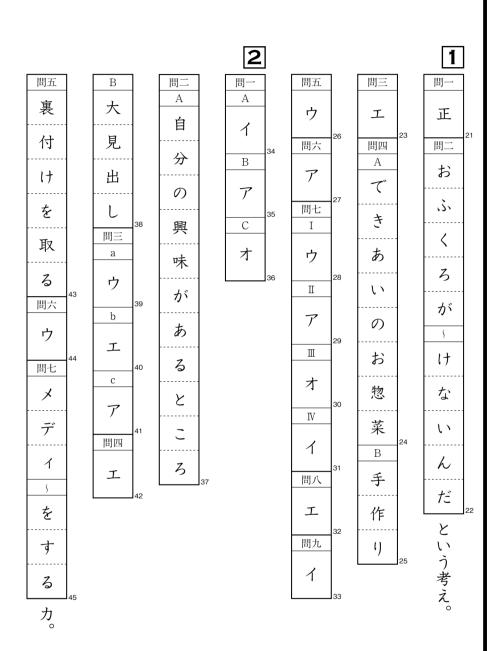
月の自転する周期と地球のまわりを公転する周期が等しく、またその回転する向きも同じになっているため、地球から見ると 月はいつも同じ面だけを向けて同じ模様が 見えています。

#### (7) B1 置換 根拠

図3のような形に見えるHの位置にある 月面から地球を見ると、向かって左はしの わずかな部分だけに太陽光線が当たってい ないので、キのような形に見えます。

#### (記述問題の採点について)

- ・解答の字数制限にしたがっていない場合…不正解
- ・明らかな誤字・脱字がある場合 … – 1 点
- ・文章表現の不備がある場合 …-1点

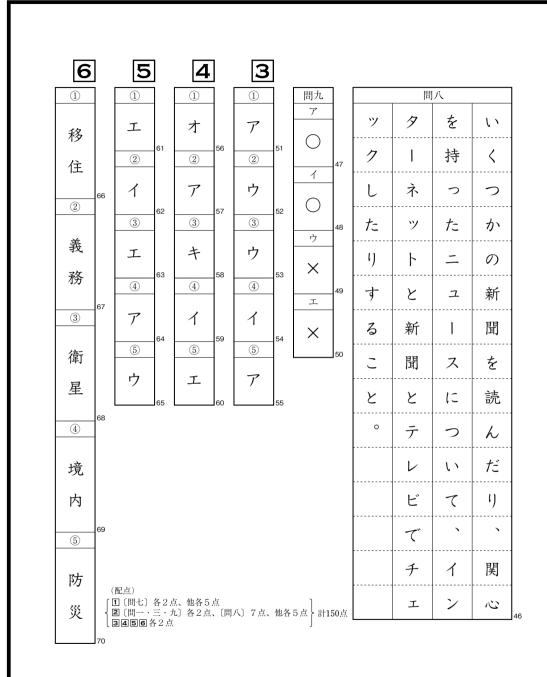


小学五年

玉

語

- 解答と解説



#### 

1 解 石井睦 美の 「キャベ <u>ッ</u> か ら出題しまし

情 を 0 W 移 で さ 0) ŋ 大切 Š 死 変 5 p わ な れ 母 ŋ 家 0) `を読み取ることができる場面 さまざま 族 就に を 職 など 守ろうとするように なことを 家 族 を 取 考 ŋ ž 巻く なが になる主 環が , 5, 境。 0) 料 変 人 理 を 公 化 0) す に る 心 心

## 問 A 1

と きありま 正 と 真 ί, 正 . う 銘 意 味 は 0 全くうそい 四 字 熟さ 語ご で つ す。 b り 真しの 正せな 真ない 銘が 本 ح 物 書 で くこ あ る

## B 1

に が ベ る 丰 こと ツ ヤ か , 5, そ ! ベ つ ί, た が が ツ ・つ」が 0) ح で わ だと 思うことは きるように か りま と 線 指 65 思 (2) 心ったん うこと す す。  $\mathcal{O}$ 0) 内 は 仕 容 ならなくてはい さらに が だし 前 事で大変な は 読 0) とい み ーそう 行 その 取 0) れ · う 箇ゕ 答 続 合えた瞬間、 キャ ま きを 「おふくろ」 す。 け ベツ」 読 な め 13 ば、 と が で ぼ 0) って す。 ぼ < た 丰 < は、 め そ ヤ 15

## В 1 比較 推論

感 63 ま U つ で お な 7 0) が S 内 線 13 くろ」 容 5 ま (3) É す。 に 0) 注 直 無 は、 前 目 ぼ 理 15 し だ 仕 ま そ か 事 し はに 5 ょ れ を言 そ う。 で 行 n < つ を 前 会 بح たところで 社 あ に 現 現実飯 勤 0 め ま 認にの を す 識き進 L か 聞 が備 た 5 < 甘��を ح 耳 す そ いる を 0  $\mathcal{O}$ と ح な 前

> こと とに こそことさら と š 13 な ま う が < 気 が 13 15, そう ら 0) 心 づ が だろう に 配 13 あ で な ま 7 ぼく たまら h ほ な で 13 ま ど心 倒 ま h り れ す。 で 0) 頑 ŧ な 配 5 本 心 張 れ とは な 当 13 な 情 り 「お 0) た 11 は であることが です。 す ŋ み 15 ふく ぎ た し お ž な た 11 ふ 「頑張ら よっ 5 くろ 11 ろ ように て、 と思うと、 0) 5 わ ŧ 気 る か ħ (持ちを 本当は 声 まって ŋ た をか 心 ŧ 挙 配 げ 今後 泣 け 気 13 だ 句 べづか るこ た 17 7 5

し お

## 問 四 B 1

う う つ 自 惣 な って が 分 菜 7 言 ぼく」 [葉に 5 0) ŧ ぼ 13 り 発言 だ ね、 、る内 < あ L 7 た れ 対 は 0) に か 0) だ 容 し は 言 て ま で が れ は 驚きお る言 お す。 葉 愛 か Š 情 ふ で が 直 13 < くろ 葉 をこ す。 問 愛 前 7 題を を ろ 情 0) 13 探が をこ め つ ま よく読 し 0) が 7 ま す。 あ ま 作 驚 り め 0 Z ž 13 つ て さ ょ た ぼ 作 つ、 み、 たことに あ 0) う。 < ŧ つ そ そ て で 字 0) う う で は る 数 き 指 対 あ で h あ な な き 定に ると し、 だ 13  $\mathcal{O}$ 0) ょ ? あ 0) ? 逆 13 お 注 11 に つ と 惣きが لح 0) 意 た おい菜質指い

### 問 五 B 1 知識 具体化

は ħ  $\mathcal{O}$ で な 言 りに 葉で じ き か るよ 7 0) ŋ ほ す。 15 努 うじ うに ることが 力 ح を 13 ゃ な 重 う なく、 るし、 線 ね **(5)** 0) 書 7 を は か 「ここで重 ふく 重 13 ħ け ね そ 7 ば む 7 0 15 どん 段 11 通 ま くってい 落 り す。 要 に なことでも で な は、 あ 努 0) は、 る 力すること以 うことの ぼ ح < 努 あ 力 13 る う つ が ほ 意 7 程 「そ j 度

に 65 ること 重 ね が 7 読 み < 取 ħ ま 何 す 度 ŧ Þ る こと が 大 事 だ لح 感 じ

7

に

## 問 六 В

選せぼ が は Þ 63 L 7 あ 記れたく 択たく 肢しが きた を 7 0 つ た ま 15 0) せ き 線 0) 率 5 ぼ る 夜 場 < 先 虫 6 たまら h 1 0) 面 Ō ぉ し で 様 と は 7 直 は あ 工 Š 子 くろ ること 後は 泣 な が お 本文に きた 美砂 に 7 え ふ が ーぼく、 13 と はの は か ろ 一致する箇でという気は、「メ 想 怖き様 n 泣 は 子 か 7 が 泣き くことの つ を 15 初 たん 見てべ ま め 虫 す。 7 ŧ 持 だだ だ 所 0) ちに 5 直 か が と そ つ 会 13 5 思 接 を 社. あ か な 泣 的 う。 n か れ 勤 っ き と < な ま て め ŧ た 原 あ ( 美々ぐ せ か 0) な 大 り  $h_{\circ}$ な 砂さ つ 5 で に ま っ のた で 帰 す。 ŧ ゥ す ち思り は

## 七 A 2 知識

る け 文 ょ 不

す は 7 る 13 Î いる美砂 動 一は好 ぼく て深 0) 頭に置 0) き が 兄としての ここみ な だ か け 上 れ 泣 げ た 65 る様子、 □ < た :調を表した表現が入り おふくろ」 ح き IV 0) 気 0) 持 は 手 ち、 送美砂に 0)  ${\rm I\hspace{-.1em}I}$ 子、 命 ŧ は 令 す。 を 寝

## 八 B 1

の理 つ Þ  $\mathbf{H}$ 65 ŋ が け 7 ろ 入 な 0) n 7 11 に どこ ま は す。 ح か は泣 ぼ h くは思 の直 だ ひ 前 15 か き に 7 5 だ は つ お し た 45 男 に s け くろ 0) とい は な 子 11 15 だ 0) つ ح う つ 7 そ 「ぼ 続 7 Ō 15 き 言 < 泣 た が 葉 か あ 5 が が た ŋ じ り 思 ま ぼ す。 L Þ つ < た ち な

> 正 か 解 な が あ と n あ ま る す 0) で、 そ 0 言 葉 が 書 か ħ 7 65 る 箇

> > 所

## 問 九 B 1

み と

くち で 気 す。 持 点 が に ŋ 安 し 美 ぼく」 が に は ゃ ち 13 砂 あ すてない の様 りま 選 12 反 まお さ とい ち ゃ れ」ていると 択 な 面 が らせん。 が じ 肢 つ と 子 てつ を見 け 11 0) う ア たこと で 言 れ ĺ 決 す。 ば É [葉を 意 工 線 て とつ は は な 不不 (8) 妹 が 感じ š 守 満 0) 13 0) ち と つら ち な 幸 安 ょ が 思 5 ていることがわ 足 が 福 な う 11 なくちゃ」 っそう り 感 < に 15 つ ま 出 7 た に せ 思 す。 し 幸 65 包 に な つ 満 様 福 ま ま た ゥ たこ す。 感 れ ち 子 Ú 0) と思っ に 7 足 は かる部 よるも Z ととな 13 り ぼ さ た 0) 7 < お た み と 13 ふ 守 き て、 つ 分 が し 0) < っ さ 7 が 5 な 17 ろ いか 本 た Þ 0) な う さ

2 出 説 比 べ、 明 題 震さ し 藤さ し 孝な 7 新 ま 15 聞 0) し た。 ま が す。 ど 新 0) テ 聞 よう レ 力 ピ な で Þ 点 き ネ る に ツ お 卜 人 は 13 0) 7 = すぐ ュう 1 読 れ ス h てい などと新 で 13 る る 0) 聞 か か を 5

## A 2 知識

問

そ ょ が 0) う。 接 順 続語 前 接 後 Α 0) で は 0) 関 話 そ 問 係 題 0) 題 12 が大きく変 前 は なっ 後 そ で 7 逆 0) 11 0) 前 ま ゎ 内 後 す。 つ 容 0) て が 内 11 書 容 ま か 0 す。 れ 関 7 係 С 17 ま は 注 す。 前 意 後 В 0) ま 内は

## В 1

すくな 曲 新 る 7 ょ 聞 とし う。 ところ 聞 L  $\mathcal{O}$ ま だ 違 って て、 たと幅 う イ 線 15 理 ン L 1 に ι, 15 広 か 由 タ つ 0) たり ろ 1 見 は 次 11 65 h ま ネ 0 情 7 な面 す 社 ッ 段 せ 報 ま るこ 会に ん 卜 落 が ح を で 以 アンテ め ح ع 眺な 関 集 降 5 が め ま 心 め 0 れ 挙 たり大見 と が 5 ナ げ 7 め な れ 1 5 11 けれ情 5 ン れ ひ る れ タ 7 つ 部 出 て ば 報 1 ί, か 分 自 0) し ネ ま 範はに か が ま 分 ツ す つ 囲い注 目 す。 0)  $\mathsf{k}$ に て 齟 が 目 社 < 入 味 尮 し 会 る り 方 ま ح が 5 B 理 で あ れ し 新

## 問三 A 1 知識

を 意 最 0 7 選 味 覚えようとす ŧ 意 外 大切 来語 ž で 味 ように 使 を わ で 予 な す。 れ ど、 測 し 7 し 7 ί, 文 ることも必要で な な る 解 脈 じ が か きま  $\mathcal{O}$ み 5 をよく考 中 意 0) しょう。 でそ な 味 13 をとら れぞ 言 え、 す。 葉 'n は 最 えよ 0) た 日ひ ŧ だ、 言 頃る 意 う 葉 か 味 と が 文 5 0) す ど 章 辞 近 0) る 0) 45 書 こと 選ばよう 中 を で 引 肢なが そ 13

#### 問 四 В 1 理由

事 紹言い つ コ بل な 1 介かう < 15 実 選 本 う が し な 択 £ 1 本 書 た 文 つ 肢 てい 文 ほ 0 アは 新 で か 内 聞 は 0) れ う 内 が 容 た 15 7 視しと 0) 今 ょ 3 容 65 聴音 だと 紙 つ بل  $\mathcal{O}$ る て < 合 者に つ 時 て 見 5 ŧ 11 代 つ ح うこと 7 13 解 安 は 61 み ま を 心 そ が 17 h す。 違 比♡ま し れ な ま が ぐ うこと 較かす が 1 す。 わ 5 す 思 ゥ は か る 65 つ が 0) は な つ 新 7 ぜ 新 7 わ で、 聞 13 テ 聞 き な を か る にま取 同 レ 5 n か 基もし ま U ビ 新 る 5 す 問 0) 聞 づた 人 で 11 が 題 新 に す は と に 聞 7 少 な

> 伝  $\mathcal{O}$ ほ 15 内 ど え テ あ 容 る り と レ ま بح 合 ビ せ は で つ h て 新 難 聞 し 17 を ま 15 流 す す 効 工 意 率 は味 ょ ŧ < 膨っあ 大だる に な 0) あ だ 分 た 量 な る 0) 内 = بح ユ 容 15 1 う が 本 ス本

文

る

を

## 問 Ŧ В 1

す 厳ゖ行 ま わ 事 とい ŋ 格な ず つ を T 掲は線 で か う部 事 しか (3) (7) す。 13 載され 実 してい ることは、 i分に な 「 これ」 取 で 15 材 書 な 」ということで る し か 15 て に れ ح こと ŧ ŧ てい た は、 必 か し を ず か ま か 報 ず。 新 裏 わ 15 道 聞 付 5 新 し す。 で ず、 け 聞 な は を は 13 毎日 訂 訂び 取 ょ 正 正な る 事 う 膨 記 実 0) É 記 大 事 が 事 新 な を に 原 聞 は 分 出 対 ほ 則 記 量 す で し 者 h 0

てがつ

 $\mathcal{O}$ 記

## 六 В 1

問

猟 し = 13 各 企 る り、 7 ユ る 社 業 0) そ 1 0) が 0) С で 購るの ス で 出 社 す。 読ど新 は す し 員 0) 料質聞 新 て が 直 そ Þ 記 聞 と 11 取 前 0) 広 述 る 材 事 記 で 内 告は 事 記 ベ し 容 費 を 5 7 事 ネ ŧ が 書 ħ を ツ 最 支し とに 7 短 65 ١ ŧ 払は線 < た 13 に 近 作 わ 4 ŧ ま ま 載の 11 れの す。 5 と 0) つ 0) る 前 れ め で 7 が 0) 無 か 7 て、 は 13 選 ニっ らこ 13 料 あ る 択 る 要 で り = 肢 そ 0) あ 約 ま 0) ユ ウ 成 段 で る し せ 1 で  $h_{\circ}$ ŋ 落 あ ネ 7 ス 立 に り、 ツ 出 は あ つ ŀ L 新 Ι 7 る そ 0) て 聞 Τ

## 問 七 В 1

新 聞 を 線 は ⑤の直後 じ め とするメデ 12 あ る 通 イ り、 ア を読 デ み 1 解 ア < 力 IJ テ ラ 読 シ 解 力 1 ح 0) は

問

ところを 0) ことで す れ が L と ま 同 し じ れ 内 で う。 容 は で 字 数 よ指 り 定 具の 条 体 的 件 に に 述 あ ベ 7 らは れま 7 5 いな

るい

事

る

# 問八 B2 筋道 具体化

と 三 う Z う で シ 65 # ク ツ つ を < 関 ŀ 1 れ ま 7 Š L B 身 筆 うに 者 違 整 す。 13 連 た 0) 0) に 者 うを、 り、 理 を < 記 で な つ で 11 は そこに くとも は し 身 B ネ ユ 口 事 が け 本 に どの つる方法 ま n な 見 し ッソ を あ 1 文 し えて (中で、 つ 13 方 ŀ チ る ス て ょ け テ بح エリ で で 2 が 65 よう るの し き 紙 関 レ 紙 ツ は ... を 一 < ょ 新 ぐら のビ情を て、 ク 紙 心 う なことを が がも 報 往 す 媒 を 聞 つ か 理加の復 る 体 バ ょ 持 述 17 を ラ を 65 つ し 癖せ つ チ え 用 想 ベ と をつ ン 0) て、 かな 見 た エ て 63 的 15 して ス み が 7 記 ツ か 7 で 13 なら、 う 方 け ネ 0) か 事 ク す X ま 部 てく ー メ 5 は、 取す と と デ ツ す 分、 13 ļ, し 情 れれ 1 ح 報ださ 紙がきり、た判断体が デ て う ば、 イ ア 15 1 問 は 新 に ン う つ ア 厚い IJ 13 正 タ 意 聞 部 に 1 見 解 み で つ 力 テ 分 を IJ テ そ ラ 合 だ ネチはが 0 で 共新シ テ لح 持 う 身 う V ツ エー す。 ビ思 ょ ラ ッネに通聞 たいト 1

11 11

メ 読 で

は 正. 減 は 減 不 設 解 点 点 と 正 間 1 3点 し 点 解 0) ま ح 指 ح す。 し 示 し つ ま P ま ま あす。 字 す た る 数 解 場 た • だ 文 答 合 0) は し字 減 誤ご指 説 明 点 字じ定 2 脱だに 12 過 点 字υ従 がっ 不 そ 足 一 て れつい が あ 以のな る 上 場い 場 は合 ₹ 不は  $\mathcal{O}$ 

\*

う デ む X 偏窄テ 合 1 0) を P ح 方 で 1 つ レ つ 1 で ま は は と 法す た 7 بح ア ピ す  $\bigcirc$ 書 が 無 番 る で め ŧ 63 か 述リ あ エ責 組 る 授 す 7 ハテラ れ も任 0) 業 読 (1) にこ ま最なは 7 で が 1 め 0) 15 れシ す 人二  $\bigcirc$ 後 行 ŧ る 後 てい な ば 1 0) で ょ 以 わ 0 を の方 か す。 う n 降 るだけで、 ので×です 線に 身 内 0) り る し 0) に \_ ④ なか 容 ウ ょ 内 とま つ 情 う と は のり 容 け近 に後ま新 報 と る 入 で な す 聞 65 0) 近 手 は 手 に 0) 線 つ を 65 خ で 書 今の は 6 た 読 を 0) 13 0) は内 出 本 す か 0) む で はが う れ 後 で 学 容 人 す す 点 す ベ 不 7 0) 校 とは が き 向あ で 15 で 合 ( は た で き なっ 0) ŧ 関 つ だ い意 と 7 は ま 本 内 ( 連 をの見え容サい

がば

とポ